
加来 徹 Toru Kaku, Baritone

福岡県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程独唱科を首席で修了。大学院アカンサス賞受賞、武藤舞奨学金を受ける。第55期二期会オペラ研修所を総代で修了。最優秀賞および川崎静子賞受賞。

歌曲の演奏には定評があり、ドイツ歌曲やイギリス歌曲、ロシア歌曲など、時代問わず幅広いレパートリーを持つ。バッハ・コレギウム・ジャパンでは「マタイ受難曲」「メサイア」などをはじめとした多くの公演でソリストとして出演し、2021年の「エリアス」公演ではタイトルロールを務め、絶賛を博した。2020年英国グラモフォン賞を受賞した『マタイ受難曲』CDではソリストを務めている。

オペラでの活躍もめざましく、2015年日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、2015年二期会『ジュリオ・チェザレ』アキッラ、2016年二期会『ナクソス島のアリアドネ』ハルレキン、2018年『フィガロの結婚』伯爵、2018年&2020年『ラ・ボエーム』マルチェッロ、2018年日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、2019年二期会『金閣寺』鶴川、2020年日生劇場『ルチア』エンリーコ、2021年 NIKIKAI Days『光太夫』タイトルロールなど、多くの作品に出演。2021年8月には二期会『ルル』において、急遽代役として難役シェーン博士を演じ、表現豊かな演唱で観客を魅了した。

2019年日生劇場主催『アラジンと魔法のヴァイオリン』ではアラジン王子役として全国でツアーを行なった。2018-19 日本フィル&サントリーホール《とっておきアフタヌーン》では、シーズンを通してナビゲーターを務めるなど、MCにも定評がある。

Jリーグ「アビスパ福岡」の熱狂的サポーターとして、2021 明治安田生命 Jリーグ開幕戦では念願のアビスパ福岡ホームスタジアムでの国歌独唱も行い、2022 シーズンも続けて大役を務めた。

第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。

2014年チャンネル・ピグマリオン・デイズアーティスト。

2021年にはCD『moment -歌道-』をリリース。

NHK-FM【リサイタルノヴァ】出演。テレビ朝日【題名のない音楽会】出演。

洗足学園音楽大学非常勤講師。二期会会員。

(令和4年8月現在・転載禁止)